

会 議 記 録

作成部局課名 塩田地域自治センター

開催日	平成 20 年 9 月 19 日(金)	開催時刻	14 時 00 分から 16 時 00 分
会議名	塩田地域協議会(平成 20 年度第 7 回)		
出席者	委員 17 名(欠席委員 3 名)		
事務局 出席者	出席職員 神林センター長 古川センター長補佐兼庶務企画係長 田中地域交通政策課課長補佐、堀内経営管理課長、大塚上水道課長		

会議次第

- 1 開会 (塩田地域自治センター長)
- 2 会長あいさつ (大口会長)

概 略 暑かった夏も過ぎ実りの秋を迎えて。協議会も委員の真摯な取り組みにより良い形に推移している。講演会や研修会など一歩前進したと思う。地域自治センターは、核となる拠点施設である、各団体と協議し案をまとめたい。自治会連合会との協力にあたり忌憚のない意見をお願いしたい。

3 協議事項

- (1) わがまち魅力アップ応援事業について(担当課：塩田地域自治センター)

採択事業の状況報告について

説明要旨

- ・ ほっと!湯ったり!まるまどプロジェクト事業について、実行委員会代表斉藤恵理子さんからチラシについて説明)

主な質疑

- ・ 地域協議会の委員意見として、地域とりわけ別所温泉の地元を巻き込む実行委員会として欲しい。
- ・ 別所線電車存続期成同盟会として、市自治会連合会でPRしている。
- ・ 入場料 2,000 円の内訳はどうか。別所線の沿線者にとっては、この金額には抵抗がある。

回答

- ・ カラオケ大会にあっては、10 回経過後にチャンピオン大会を予定している。引き続き支援をお願いします。
- ・ 歌謡ショーの入場券(2,000 円)には、上田駅～別所温泉駅までの往復切符、相染閣の入浴料が含まれています。
- ・ カラオケ大会 10,000 円は、電車の乗車券、景品や弁当代が含まれており、運賃はおまけになる設定となっています。他には障がい者への寄付も含まれていません。

わがまち魅力アップ応援事業選考審査について(担当課：塩田地域自治センター)

(非公開)

(2) 公共交通活性化プランについてのアンケート調査結果について(担当課:地域交通政策課)

説明要旨(地域交通政策課田中補佐)

- ・ アンケート調査結果に基づく市公共交通総合連携計画実施事業について説明
- ・ 上田地域循環バス実証運行
 - ・ 現行東コース・西コースを一体化し8の字運行とする。
 - ・ より利便性を向上するため、2台のバスで双方向に運行する。
 - ・ 運賃は一律200円とし、高校生以下は及び障がい者は100円とする。
- ・ 乗り継ぎ情報提供表示板及びバスマップ作成
 - ・ バス、鉄道の交通結節点である上田駅と大屋駅にすべてのバス路線図と時刻表を表示する案内板を設置する。
 - ・ 案内板と同様の情報をパンフレット形式のようにして、各家庭に配布しバス利用促進を図る。
- ・ 別所線車両ラッピング
 - ・ 別所線1000系車両に、原田泰治先生のデザインをラッピングし、別所線の利用促進を図る。
 - ・ 塩田線(長野病院 上田 別所温泉)において、中心市街地への通勤・通学及び沿線高校等への通学に配慮し、朝の別所温泉行き第1便を回送する必要が生じたことにより1便減便とする。
 - ・ 平井寺経由鹿教湯線(秋和 上田 平井寺 鹿教湯温泉)は、鹿教湯温泉宿泊客の送迎を目的として設定された路線のため、利用者の実態に即したダイヤ変更と、利用者の少ない2便を減便する。

主な質疑

- ・ 住民へのPRが必要で、大いに利用してもらいたい。
- ・ オレンジバスは別所西塩田線、東塩田線の2コースがある。高齢者福祉センターの、クラブ活動開始時間に間に合わないのが午前10時に着けるようダイヤの変更をお願いしたい。
- ・ 利用状況や上田市の支援状況はどのようになっているか。

回答

- ・ オレンジバスは、高齢者福祉センターへ午前10時に着けるにとしているが、利用者が高齢者のため遅れてしまっている。
- ・ 市補助路線は、全て赤字であるが運行している。利用者がある限り継続したいが、利用者いないと廃止となってしまう。
- ・ 乗って残すことが必要で昨年比プラス指向となっている。
- ・ 市全体の補助は、約1億1,000万円となっている。

(3) 上下水道料金改定案について報告（担当：経営管理課）

説明要旨（経営管理課堀内課長）

- ・ 上下水道料金改定案について（諮問説明）
- ・ 水道料金は、合併協議において平成 23 年度を目途に段階的に統一するとしている。
- ・ 同一市民で同一サービスを受けていながら、料金の負担に格差があり公平であるとはいえない状況である。
- ・ 水道法や地方公営企業法では、不当な差別的取扱いを禁止している。
- ・ 平成 21 年度と 22 年度に料金改定を段階的に行い、23 年度に料金の統一を図る。
- ・ 料金改定諮問事項（別荘を除く）
 - ・ 平均改定率は、マイナス 1.0%とする。
 - ・ 料金算定期間は、平成 21 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの 4 年間とする。
 - ・ 改定料金の適用は、平成 21 年 4 月、平成 22 年 4 月及び平成 23 年 4 月の 3 回にわたり、新旧料金の差額を 1/3 ずつ調整し平成 23 年度に統一する。
- ・ 別荘区域
 - ・ 料金を据え置きし、料金は消費税総額表示とする。

主な質疑

- ・ 審議会は開催されているのか。
- ・ 答申について地域協議会で審議するのか。
- ・ 県営水道と市営水道を一体とできないか。料金の差は解消できないものか。
- ・ 農業集落排水を公共下水道に合併できないか。
- ・ 水のおいしさが違うので、早く県営水道と市営水道の一体化を希望する。財産の扱いの難しさや更新時期でないと統合や移管はできないものか。

回答

- ・ 10 月に答申をいただくようお願いしている。
- ・ 答申されたものは報告する予定だが、地域協議会へは改めての説明は予定していない。
- ・ 一月の使用量 13 m³と 20 m³は、年間で約 6,000 円の差が生じている。13 m³までは、市が補助しており実差額約 3,000 円となる。管径 20 mmの利用者が多くを占めている。
- ・ 公共下水道への農業集落排水の統合は、経費の削減になるものの補助金等の取り扱いの調整など課題が多い。検討する余地はある。
- ・ 県営水道の上田市域は、赤字経営である。県営水道の上田市への移管にあっては厳しい条件を付けられると思う。県営水道は、上田から長野までを一体と考えなければならないので難しいと思う。

(4) 塩田地域自治センター整備事業について(担当課：事務局)

説明要旨

- ・ 建物概要は、外壁はセメント型外装材、瓦葺切妻、腰部分は色分け。
- ・ 内装は、塩ビ系塗装シート、掲示クロス。和室は、畳とし研修室3はカーペット敷きとする。その他は長尺シートとする。
- ・ 窓口部分の管理は、管理シャッターとし中廊下は、トップライトとする。
- ・ 外構は、平板ブロック敷のうえ車の乗り入れ対応。駐車台数は、60台を確保し浸透アスファルト舗装とする。
- ・ 基本設計については、過去2回の陳情内容を考慮した。景観的に3階の建物・がよいかかわからないが、平屋の切妻とし予算上地下室は難しい。
- ・ 複合施設とし、母子健康センターの機能は公民館機能の一部を共用する。駐車台数300台は難しい。
- ・ パブリックコメントの一部を取入れてきた。
- ・ 地元要望は、聞けるところは聞く予定である。地元の意見の取りまとめは、地域協議会でお願いしたい。
- ・ まちづくり活動拠点施設は、自由な使い方として有効な活用を期待している。

主な質疑

- ・ 意見集約時期は、いつ頃となるか。
- ・ 塩田中学校のようなイメージ図（鳥瞰図）が欲しい。次回鳥瞰図欲しい。
- ・ 女性トイレのスペースを広くして欲しい。
- ・ ソーラーシステムの導入を希望する。
- ・ 平成12年の陳情では、住民サイドで作成した図面を提示したが、住民に使いやすい施設を希望する。
- ・ 地域交流コーナーに自動販売機の設置を希望する。また、各種手続きなど本庁へ行かなくても済むようにして欲しい。（職員の適正配置）
- ・ 比較検討のため、現況の利用図面が欲しい。（パンフレット表示のもの）
- ・ 上野が丘公民館を視察したい。

回答

- ・ 意見集約時期は、内容により異なるが細部に関わることは多少先でもかまわない。本体に関するものは早急に。11月中位には答申を希望する。（外装は別）
- ・ イメージ図（鳥瞰図）については、現在の中で可能な限りのことをしたい。
- ・ ソーラーシステムの導入は、相当な費用がかかるので新エネルギー産業技術総合開発機構の補助金なども検討する必要がある。また、イニシャルコストなどの比較検討も必要となってくる。
- ・ 平成12年陳情の図面は見えてないが、主旨を取り折れているつもりであり、景観に配慮した場合3階の建物がよいものか。
- ・ 職員配置については、回答できないが合併協定書に遡り、旧上田市は現状でよしとしてきた。市全体で187人の職員削減を考えるべきである。
- ・ 本庁へ行く必要のある手続きなどがどの位あるか、地域内分権の考え方、自治基本条例の今後の行方など行政だけに限るものではない。
- ・ 職員配置については、兼務含む11人のスペースは確保されていると思う。市

全体の中で考えるべきことと思う。

- ・ 公民館では、利用者団体会議で意見集約し地域協議会で協議のうえ、地域の意見としてまとめることとなると思う。
- ・ 現況の利用図面による比較は、一概には比較できないと考える。
- ・ 一度上野が丘公民館を視察していただければよいと思う。

(5) 研修視察について(担当課：事務局)

説明要旨

- ・ 東塩田、中塩田及び西塩田地区の一部について、現地研修を開催する。
- ・ 日時 10月21日(火) 午前9時から午後2時 その後地域協議会開催

4 その他

塩田地域には、課題が山積しており自治会連合会や議員との懇談会など月2回の協議会も検討するので協力をお願いしたい。

5 閉会